

10月12日 台風19号

被災から学び 強くなる



10月12日(土)、台風19号が関東地方に上陸し、記録的な大雨により土砂崩れや河川の氾濫、道路の陥没など様々な災害を引き起こしました。越生町にもその傷跡は深く残り、被災された方は今も、元の生活を取り戻すために復旧活動に取り組んでいます。

人生で初めてといっても過言ではないほどの被害を経験した今、私たちはこの一件から何を学べるでしょうか。

今月は、台風19号による被害や対応を振り返り、正しい行動を学ぶことで、自然災害に備え、「自然災害に強いまち」を創りましょう。

被災から学ぶ

今回の災害で、町内では土砂災害や道路の陥没、一部地域の浸水や停電等の被害が発生し、龍ヶ谷区内では、一部の地域が孤立するなど、過去に例を見ないほどの被害を受けました。

町では、全7か所ある指定避難所のうち、安全に避難者を受け入れられる6か所を開設し、合計898人の避難者を受け入れました。幸い町内では人的な被害はありませんでしたが、台風が去った後、住家の浸水や敷地の一部崩落といった被害が多く確認されました。

台風19号は新聞やテレビで「今までにない」「2019年最強クラス」といった表現で勢力の強さを訴えていました。それを見聞きしたみなさんは、「いつ、どこに避難したらいいんだろう?」、「私の住む地域は安全なのか?」など、様々な不安を覚えたのではないのでしょうか。

○町の指定避難所は7施設

越生町では、「指定避難所」に次の7施設を指定しています。町では、災害の状況に応じて開設する指定避難所を検討し、みなさんが



町内の被災状況

- ①龍穩寺前（龍ヶ谷）、②林道楠線（上谷）、③あじさい街道（小杉）、
④越辺川（黒岩）、⑤林道妙ヶ沢線（麦原）、⑥林道楠線（上谷）



○土砂災害ハザードマップ
町では、町内で特に土砂災害の危険がある地域を図上に表記した「土砂災害ハザードマップ」を作成し、総務課窓口で配布しております。町ホームページでもご覧いただけます。みなさんは、町内に土砂災害の危険箇所が146か所もあることをご存知でしょうか。これを機に、お住いの家やその周りの土砂災害の危険区域と、安全な避難経路を確認しましょう。

避難される際は、①避難所の開設状況を確認し（※）、②安全に避難できる避難所までの経路を確認し、③（状況に応じて）身支度を整えて避難してください。
※避難所の開設情報や町からのお知らせ等の確認方法は4ページで紹介していますのでご確認ください。
指定避難所 ①中央公民館、②やまぶき公民館、③地域交流センター、④武蔵越生高等学校、⑤オーパークおごせ、⑥県立越生高等学校、⑦梅園小学校

台風19号による避難所の開設状況

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
梅の家 (GHやすらぎ)	鹿下農民 センター	津久根 集会所	オーパーク おごせ	ニュー サンピア	地域交流 センター	県立越生 高等学校	やまぶき 公民館	梅園小学校	中央公民館	避難所
9世帯 9人	4世帯 4人	3世帯 6人	18世帯 51人	19世帯 54人	7世帯 11人	96世帯 253人	41世帯 85人	104世帯 267人	74世帯 158人	避難者数
10/12(土) 10:00	10/12(土) 10:00	10/12(土) 10:25	10/12(土) 16:55	10/12(土) 16:55	10/12(土) 10:50	10/12(土) 10:50	10/12(土) 10:50	10/12(土) 9:15	10/12(土) 9:15	開設時間
10/13(日) 4:00	10/13(日) 6:30	10/12(土) 23:15	10/13(日) 0:00	10/13(日) 7:10	10/12(土) 23:30	10/13(日) 8:30	10/13(日) 0:30	10/13(日) 8:00	10/13(日) 16:45	閉鎖時間